

原文

指摘事由 写真との関連性が希薄で、理解しがたい表現である。

◀不信と憎悪の連鎖をのりこえて イスラエルの攻撃に対しアラブ系パレスティナ人の過激派は報復テロをおこない、双方とも民間人をまきこんでいる。左は、アメリカ軍の攻撃で家を破壊されながらも、おとすれた外国人ジャーナリストを歓待するアラブ系イラク人男性。「遠来の客をもてなすのがアラブの流儀」という。同じ土地、同じ国、同じ民族でも、考えや行動はさまざまだ。一面的な見方をさけて、不信と憎悪をのりこえる道をさがさなければ平和はもたらされない。

修正文

◀不信と憎悪の連鎖をのりこえて 左は、2003年のイラク戦争で、米軍の爆撃で自宅を破壊されながらも、欧米日からおとすれたジャーナリストを歓待するアラブ系イラク人。^{えんらい}「遠来の客をもてなすのがアラブの流儀」という。不信と憎悪をこえたこうした民衆の行為こそが、多発する紛争を克服する原点となる。